

# 認知症サポーター養成講座を受講して 「認知症の人にやさしいお店」



## に登録しませんか

### 認知症の人にやさしいお店とは

認知症の人にやさしいまちづくりに賛同していただいた事業所のことです。特別な対応をお願いするわけではありませんが、困っている方がおられたらやさしい対応をしていただくなどのご協力をお願いします。

#### ～登録の方法～

1 裏面の「認知症の人にやさしいお店」登録申請書を提出

2 「認知症サポーター養成講座」を受講

講座では、認知症に関する基礎知識や認知症の人への接し方などについて講義や寸劇でお伝えします。10名以上集まれば、いつでも開催可能です。

\*講座は従業員全ての方に受講いただく必要はありませんが、受講した方から他の従業員の方へ内容をお伝えください。

\*これまでに、講座を受講されたことのある場合は、受講の必要はありません。

3 登録事業所へ「認知症の人にやさしいお店」ステッカーを交付

「認知症の人にやさしいお店」として、射水市ホームページに掲載します。また広報「いみず」でも随時ご紹介します。

認知症サポーター養成講座について  
10名以上の講座の開催が難しい場合は…

市役所で認知症サポーター養成講座を開催します！  
参加申し込みをしていただき、受講後に「認知症の人にやさしいお店」の登録をお願いします。

別紙案内  
参照



射水市認知症ささえ隊マスコット  
「オレンジちゃん」

射水市地域福祉課 TEL 51-6625

やさしさを見えるかたちに…

登録おまちしています





令和3年6月2日（水）北日本新聞20面

## 認知症患者にやさしく 支援事業所にステッカー

**射水** 射水市は1日、市の認知症サポーター養成役所で、事業所向け「講座を開いた。受講した事業所を「認知症の人にやさしいお店」の登録店に認定し、店舗などに貼ってもらったステッカーを交付した。

厚と夜の2回開き、小売店も理容店、タクシー会社などから10人が参加した。講座では、講師が市内に認知症患者が4618人いる「認知症の人にやさしいお店」のステッカー

ることを紹介。症状として記憶障害や理解・判断力障害、実行機能障害などがあがり、生活に支障を来することを説明した。

出席者は、DVDの視聴を通して認知症の高齢者が来店した際の関連した対応と適切な対応を学び、「急がせない」「自尊心を傷つけない」といった接し方が大切だと学んだ。

講座終了後、「認知症さき隊」マスコット「オレンジちゃん」が描かれた「認知症の人にやさしいお店」のステッカーや、サポーターになったことを示す肩パッチを受け取った。

令和3年6月2日（水）  
富山新聞 19面

受講店を登録制にステッカーを交付射水市認知症サポーター養成講座の受講者を対象にした認知症サポーター養成講座の受講者を「認知症の人にやさしいお店」として登録する制度を始めた。1日に市役所で



開いた講座では、理容・美容店など10事業所の担当者らが登録を申請し、ステッカーと写真の交付を受けた。市によると、認知症の市民は4月1日時点で4618人を数え、高齢者人口の11%を占める。市は今後、ホームページなどで登録店を紹介する予定で、今年度は30店の受講を目標にしている。

講座では、小杉・下地域包括支援センター認知症地域支援推進員の柴田ルミさんらが認知症の症状などについて説明し、「『驚かせない』『自尊心を傷つけない』の3点に注意してほしい」と述べた。